

## 正 誤 表

### 『便通異常症診療ガイドライン 2023—慢性便秘症』（初版・第1刷～第2刷）

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
36	解説本文上から1行目	向精神病薬	向精神薬
37	表1 「薬品名」の列の上から8行目	抗精神病薬	抗精神病薬
37	表1 「薬品名」の列の下から6行目	セベマラー	セベラマー
72	文献12	Am J Gastroenterol 117: 1714-1717	Am J Gastroenterol 2022; 117: 1714-1717
86	文献20	2010; 57: 201-215	2020; 57: 201-215
95	解説本文上から8~9行目	二重盲検無作為比較試験では、大黃甘草湯使用群で有意な有効性を示すことができなかった	二重盲検無作為化比較試験で、常用量群がプラセボ群と比較して有意に有効であることが示された
96	表1 「芒硝」の「薬理作用など」のセル	瀉下（硫酸マグネシウム）	瀉下（硫酸ナトリウム）
96	表1 「特徴」の上から6番目のセルの3段落目	腸管の過緊張に <u>けいれん</u> に伴い	腸管の過緊張や <u>痙攣</u> に伴い
103	解説本文下から2行目	リナクロチドのほうが不耐による内服中断が <u>少</u> なかった	リナクロチドのほうが不耐による内服中断が <u>多</u> かった

2024年1月26日

株式会社 南江堂